



毎日60～100種類の手作りパンが、次々と焼きあがり店内に並べられる

元々、フランダースは、藤代町（現取手市）に一号店をオープンしましたが、その後、利根町早尾の現在の場所へ移転しました。  
バブル期は、利根町の人口増加に伴い、お客さんの数も物凄く、従業員を何人も雇って切り盛りしていた時代もありましたが、「あの頃は、アルバイトを何人も雇って、忙しくしていました。今思えばただ忙しくて大変だったという思い出しかない。昨年からは、夫婦二人だけになって、それなりに苦労はあるけど、今が一番気楽かな」と、お二人は話します。

### 夫婦二人だけになった今が一番気楽



## シリーズ まちひとしごと

#009 手作りのパン フランダース

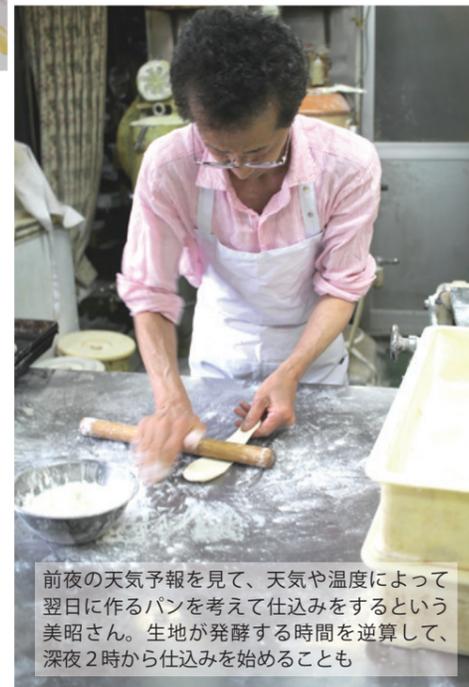
### 店とともに、自分たちも、お客さんも歳をとった 昔からのお客さんが、少しずつ減っていくのが寂しい



店主の西垣美昭さん（右）と、奥さまのふさ子さん（左）  
「パン以外にも、要望があれば、くるみやレーズン、イースト菌といったパン作りの材料もお分けいたしますので、お気軽に声をかけてください。」とのこと

「30年以上もやっている、いろんなことがある。自分たちにも、ひ孫ができたが、昔からのお客さんも、子供やお孫さんを連れて、三代で来店してくれるようになりました。  
嬉しい反面、常連さんもみんな高齢になってきて、そうやって昔からのお客さんが、少しずつ顔を見せなくなっていくのは寂しいですね。  
それでも、アルバイトをしていた学生が、お母さんになって帰省の時に子供を連れて寄ってくれたり、わざわざ町外から足を運んでくれる方もたくさんいるので、そういうお客さんがいる間は、頑張って店を続けていきたい。」と、美昭さんは話してくれました。  
30年以上の間、手間暇を惜しまず「手作りのパン」にこだわるパン職人の美昭さん。そして、それを支えてきた奥さまのふさ子さん。  
気さくで明るいお二人とお話をしていると、ついつい時間を忘れて長居してしまいうそうです。  
そんなご夫妻の手柄が、長年地元で愛され続ける理由なのだと感じた素敵なパン屋さんでした。  
「手作りのパン フランダース」ぜひ訪れてみてください。

### お客さんが来てくれる間は続けていきたい



前夜の天気予報を見て、天気や温度によって翌日に作るパンを考えて仕込みをするという美昭さん。生地が発酵する時間を逆算して、深夜2時から仕込みを始めることも

### 34年間、地元で愛され続ける老舗パン店

利根町にゆかりのある人物や出来事、企業やお店など、町内のさまざまな事柄にスポットを当てて紹介している「シリーズ まち・ひと・しごと」先月号から、「利根町パン物語」と題して、利根町のパン屋さんを二店ずつご紹介していきます。  
第二話となる今回は、昭和59年に早尾地区にオープンし、34年経った今でも、地元の方々に変わらず愛され続けている老舗パン店「フランダース」さんをご紹介します。  
「手作りのパン」にこだわり、利根町の歴史と共に、ご夫婦で歩んできた34年――  
どこか懐かしい感じのする明るい店内で、店主の西垣美昭さんと奥さまのふさ子さんにお話を伺いました。

店外に看板は無い。「壊れちゃったけど、常連客がほとんどだし必要ないかな（笑）」と、店主の美昭さんがいうとおり、焼きたてパンを求めて開店と同時に次々とお客さんが訪れます。



## 利根町パン物語 第2話

きっかけは、義兄のひとこと  
若いころは、竜ヶ崎のゴルフ場で研修生として、キャディをしながらプロゴルファーを目指していたという美昭さん。  
全く違う世界のパン屋さんになったきっかけを伺うと、当時19歳だったセベ・バレストロスのプレイを生で観戦する機会があり、プロの世界のレベルの高さと厳しさを痛感し「このままゴルフを続けていてもな……」と将来を迷っていました。

そんな時、すでにプロゴルファーとして活躍していたふさ子さんの兄が「近所に繁盛しているパン屋がある。自分もゴルフを辞めたらパン屋でもやろうかな」と話していたのを聞いて以来、その一言がずっと頭にあって、25歳の時にパン屋になることを決意。東京や千葉のパン店で修行を始めたそうです。



### こだわりのフランスパン

店主の美昭さんは、開業当初、20世紀フランスのパンの権威、日本では「パンの神様」とも呼ばれているレイモン・カルヴェルが来日した際に、直接指導を受けたこともある。そんな店主が一番好きで、こだわっているのは、やはりフランスパン



### 天然水使用の美食パン

店主が毎月、茨城県大子町まで汲みに行くという八溝山系の天然水を使用した美食パン  
この食パンを求めて、町外から訪れる常連客も多い



### 大人気アップルケーキ

大子町産のリンゴを贅沢に丸ごと1個使用しているというアップルケーキは、フランダースの看板商品。贈答用に買い求める方も多し、ずっしりとした重量感にびっくり

【情報をお寄せください】  
利根町にゆかりのある人物や、話題のお店、企業など、さまざまな分野で頑張っているの方々を紹介してください。自薦・他薦は問いません。取材させていただき、これは！という情報は、紙面で紹介させていただきます。  
※お寄せいただいた情報は、内容などにより掲載できない場合もございます。あらかじめご了承ください。  
【連絡先・問い合わせ】 役場 企画課 シティプロモーション係 ☎0297-68-2211（内線221） ✉citypro@town.tone.lg.jp

